



# MIYABI No. 4



■平成26年 4 月 30 日

■発行/徳島県邦楽協会

## 第15回 徳島県民文化祭 分野別フェスティバル 第45回 記念徳島邦楽大会

徳島県邦楽協会 事務局長 萩野拓郎

平成25年10月13日あわぎんホールにおいて盛大に行われました。今回は第45回記念大会として、徳島県民文化祭開催委員会及び(独)日本芸術文化振興基金の助成を頂き、日頃取り組んでおります日本の伝統音楽の継承、後継者育成活動の一環として、初めて「子ども・学生の部」を設け、子ども達の発表の機会を増やしました。出演数は限られましたが、若さ溢れる熱演と活気に、引き締まった舞台を感じました。今後とも継続して子どもたちの出演を期待したいと思います。

今回は会場確保の都合で、演奏時間の制約や演目数を減らすなどしたため、出演者数290名でしたが、400名を超える方々に邦楽を楽しんで頂きました。感謝申し上げます



## 画期的な邦楽演奏会 「徳島邦楽 ルネッサンス」

徳島県邦楽協会 会長 浅香寿穂

(公財)徳島県文化振興財団が、「和を知る、楽しむ」をコンセプトに「徳島邦楽ルネッサンス」を制作し、三回に分けて演奏会を実施した。

第一章の「三木稔追悼公演～現代邦楽の幕開け～」(平成25年12月21日)は、徳島市出身の作曲家三木稔の作品を稲田康(指揮)、坂田誠山(尺八)、木村玲子(二十絃箏)、砂崎知子(箏)、吉村七重(二十絃箏)、宮越圭子(十七絃)、西川啓光(打

楽器)、原郷界山(尺八)、久保田明子(琵琶)の他、県内の内田道子、遠藤綾子、久米見奈子、庄野龍夫、白田智子、鶴澤友輔、山上明山、徳島邦楽集団の皆さんが演奏した。「三つのフェスタル・バラード」は、徳島を題材にピアノ曲として作曲されたのを野坂恵子により二十絃3パート・十七絃パートの四重奏曲として編曲されたもの。「瑠璃秘曲(カデンツァ入り)」は、オペラ「じょうり」の中に使われている尺八メロディーを繋ぎ合わせて一曲の尺八独奏曲に構成したもの。「箏譚詩集第1集“冬より”」1、小さな序曲4、人形の子守歌5、やがて春がは、周辺の日記風な音を集めた箏の作品。「絃の春秋(いとこのしゅんじゅう)」は、箏と三味線の二重奏曲。「秋の曲」は、尺八と二十絃箏のデュエット。休憩を挟んで田中隆文(邦楽ジャーナル編集長)、稲田康(日本音楽集団指揮者)、増田篤志(四国大学准教授)によるトークがあり、「三木稔の果たした役割」について語られた。「ダンスコンセルタント〈第2番〉」は、NHKのテレビドラマ「鳴門秘帖」の劇音楽を組曲風にまとめた作品。30人による壮大な交響楽の演奏であった。

第二章の「邦楽古典再考・再興・最高～地歌と琵琶de源氏物語～」(平成26年1月26日)は、瀬戸内寂聴訳「源氏物語」より「桐壺」「葵」を筑前琵琶の上原まりが弾き語った。地歌「夕顔」を、三絃の福田栄香が朗読を取り入れながら箏(大嶋敦子)、尺八(善養寺恵介)を伴って弾き歌った。福田栄香のうた語りは、箏(黒田睦子)、胡弓(高橋翠秋)との「新浮舟」にその魅力が凝縮されていた。源氏のエロスを実に品よく、艶やかでせつなく、狂おしく奏でていた。

第三章の「現代を生きる邦楽～挑戦者達～」(同年3月2日)は、藤原道山(尺八)、SINSKE(マリンバ)、沢井一恵(箏・十七絃)、齋藤徹(コントラバス)、工藤丈輝(舞踏)、そして未来を担う演奏家の卵・箏組Teenagersが現代邦楽への挑戦を試みた演奏会であった。道山&SINSKEは、Over The Rainbow、さくらさくら、荒城の月、組曲「風神×雷神」、東風、BOLERO for Duoを自由自在な演奏で邦楽の新たな魅力を引き出した。十七絃の限界を極める沢井と韓国音楽が体中に沁みわたっているという齋藤の「覲」(かむなぎ)。覲とは神楽を奏して神おろしなどを行うシャーマンをいうそうだが、リズムの多様さと音のうねりが内に「恨」を秘め、圧倒的なエネルギーを放つ。「Improvisation」は即興演奏で沢井&齋藤に舞踏の工藤が加わり芸術空間を醸し出す。終曲の「独奏十七絃と箏群のための焰」は、箏群の騒めきの中に、十七絃の生命と尺八の叫びが溶け込み燃え上がる。まさに凄絶なまでの演奏会であった。



## 名誉会長 松永和三治（春名完二）先生 逝く



### 弔辞

徳島県邦楽協会 会長 浅香寿穂

謹んで、春名完二先生のご霊前に申し上げます。  
先生は、戦後まもない時期から医学に専念するかたわら長唄はもとより小唄・鳴り物まで嗜まれ、しかも名取りになられるという器用人でございました。その邦楽への思いは、日本の高度経済成長期、芸術文化もルネッサンス期で、徳島県においても県芸術祭開催への動きの中で、徳島県から、中心になる文化団体をとの要請を受け、先生は、従来、個別に活動されていた邦楽各分野の団体をまとめられ、昭和42年、徳島県邦楽協会を結成されました。翌年の第1回邦楽大会は2日間にわたり、実に424人が出演して門出を飾ったとあります。昭和47年度徳島県芸術祭開幕式典の記念公演を、先生が率いる邦楽協会が受け持ったことで、代表110人による絢爛たる舞台は、芸どころ徳島の面目躍如たるものがあつたと、当時の新聞に記されています。

以来、四十年の長きに亘り、会長として、邦楽界を牽引されました。その間、徳島県文化協会、徳島市文化協会等の会長としても、大所高所から徳島の文化振興に寄与され、その地域文化功勞に対して知事表彰、文部大臣表彰、徳島県文化賞そして叙勲の榮に浴されました。先生のその功績は側におりました私どもにとりまして大きな誇りでございました。

世話好きで飄々としたお人柄、インテリでありながら、遊びどころが旺盛で粋な文化人は、徳島に於いては希な存在で、私の知る限りでは、春名先生と林鼓浪さんが双璧だと思います。春名先生、お疲れ様でした。

有り難うございました。安らかに休息ください。  
先生が、お導き下さいました邦楽協会の会員一同が、今後一層励んでまいりますことを、ご霊前にお誓いして、お別れのことばといたします。

（平成26年1月10日 イマデヤ葵会館 告別式より）



### ありがとう

徳島市文化協会 会長 吉成正一

何時頃から深くご指導を仰ぐ様になったかは定かでないのですが、遠い遠い昔のような気がします。

春名先生ありがとう。

徳島の文化、芸能に辛勞され、今までご尽力された事に心からお礼申し上げます。

思えば、私事ですが、文化協会の役員会でいつも二人の顔が出席者のみなさんには「又、喧嘩するな」とささやくような笑い顔で私にも聞こえたものです。

二人が会場で喧嘩するのが名物であり、愉快的な二人組でした。凹凸コンビとして、みなさんに楽しんで頂きました。私が甲と言えば先生は乙と言う。会議の議題に集中しはじめるとは、ほかの出席者のみなさんの眼も輝き出し・・・、そして会は無事終わるいつものパターンでした。

しかし、今はそんな楽しい喧嘩相手が遠い黄泉の国へ旅立たれて、本当に淋しいです。  
心優しかった春名先生、心からご冥福をお祈り申し上げます。

### 私と春名先生との遊びの思い出

徳島県邦楽協会 参与 大楠亜童

私と春名君とが親しくするようになったのは、私が徳大の教職を離れ、循環器内科を開業するようになった頃です。50～60年の月日が経ちます。

その頃、山田眼科が健在で、三人でよく花柳界へ遊びに行くようになり、三人組と言われました。と申しますのは春名君が三味線、山田眼科が日本舞踊と太鼓、私が横笛で、富田街の芸者と親しくなって富田街の検番に出入りするようになり、検番で三人が練習を良くしたものです。

そのうち、彼に頼まれ、彼の家元の披露の会で新橋演舞場に彼と共に出演したこともありました。

そして、大道の花柳の師匠のところへ彼と一緒にいった時、村上師匠とチョンタ（古い芸者名）の勧めで「邦楽のつどい」を創ってはその話があり、それが邦楽協会のはじまりであったように思われます。

私と春名君等の遊び仲間も次ぎ、次ぎと他界し、50～60年の仲間は、私と彼の二人になり、そして彼も此の度他界したため、私一人になりました。

その頃の思い出の人は、花柳芳五郎、望月太意蔵、大江巳之助、お鯉、林鼓浪、チョンタ、今年竹の奥田、青柳、島田のコウキチのおかみです。この人達も今は他界し、私も94歳となり、春名君と共に彼らの所へ行くようになるでしょう。



## 松永和三治先生を偲んで

徳島県邦楽協会 副会長  
古都和会会主 松永和三幸

先生、長年のご厚情とご指導を賜り、誠に有難うございました。長唄で松永流同門の先生とは、昭和50年代からのお付き合いでした。その当時、徳島は長唄も盛んで多くの師匠がご指導されていました。松永和三登師、松永和三治師、松永和三寿師、松永和三梅師、松永和三清師、松永和登世師(私の師匠)など個性的な師匠ばかりで、又その大勢いるお弟子さんも熱心で、ユニークで面白く、演奏会も多くの曲が盛んに演奏され、それは華やかなものでした。その会の後の宴会でも、先生はお酒がお好きでニコニコ楽しまれ、話は尽きませんでした。

その楽しさを多くの人々と文化協会、邦楽協会を設立され、日本の伝統文化を守り継承していくことにも心を配られ、徳島の文化向上に貢献されたことは筆舌に尽くせません。又私内の古都和会発足の会の時から、平成23年5月の古都和会三十周年記念演奏会にも花を添え、演奏して頂き喜んで下さいました。

思い出は尽きませんが、今後とも先生のご意志を心に留め、精進し頑張っていく所存でございます。そして、徳島の伝統文化並びに日本の音楽、邦楽が永遠である事を願っております。

## 「ゆったりと間を大切に」

春名完二先生のことばより

徳島県邦楽協会  
春松会 松永 和三舞郎

平成26年3月、春名完二先生の納骨の儀が執り行われ、季節も冬から春へと移り変わってまいりました。私たちにとって大きな存在であった師匠がお亡くなりになり、さみしさと不安の中で決意を新たにいたしました。

いま、先生からお教えいただきました様々なことを思い返しておりますと、決して強くは語らず、いつもにっこりとした笑顔で大切なところを押さえた指導をして下さっていました。先生のお宅での稽古が、ついこの間のこのように目に浮かんでまいります。

今後は、先生にお教えいただきましたことを心に留め、先生のご意思を受け継ぎ、これからの長唄の道をしっかりと歩んでまいりたいと思っております。邦楽協会の諸先輩方をはじめ文化芸術関係の皆様には、ますますのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

静かに時を振り返り、先生のお宅のお庭に咲く花々、美しい三昧の音とともに、力いっぱいに咲き誇っているような気がします。

春名完二先生のご冥福を心よりお祈りいたします。



## 三曲 第40回記念演奏会

マエストロによる  
「青少年のためのワークショップ」  
成果の発表

徳島県邦楽協会 副会長  
琴古流美風会 大西晴一二

平成26年1月13日あわぎんホールにおいて盛大に行われました。ひとえに、三曲協会の皆様と関係各位のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

この間、演奏会では、中央から日本の三曲界を代表する演奏者をお迎えして、伝統音楽の高度な技術の向上を図るため努力を重ねて参りました。学校教育も、日本の伝統音楽の重要性から、文部科学省の学習指導要領の改訂も進み、積極的に伝統音楽を取り上げるようになりました。

それに伴い、当三曲部門は、音楽授業の鑑賞と体験学習にボランティアでの講師派遣事業や、「ゆかた会」で老若男女経験を問わず楽しく演奏できる会を設け、さらに、次世代を担う青少年による箏、三味線、尺八の演奏会、「未来コンサート」を支援し、未来ある子供達が和楽器に親しみ、伝統音楽の継承と技術の向上を図ると共に、幅広い年齢層の皆様には日本の伝統音楽を聴いて頂き、ご理解とご支援を頂いております。さて、これまで私の演奏会の念願でありました、マエストロによる「青少年のためのワークショップ」と成果の発表・ゲストと会員が共に演奏する合同曲を組み入れた「和」と「協調」ある演奏会を実施することが出来たことは、皆様のご助力の賜物と感謝申し上げます。

今後、日本の伝統音楽が後世に末永く残るよう普及と促進に努めて参りたいと思いますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほど切にお願い申し上げます。



マエストロによる「青少年のためのワークショップ」の  
成果発表



フィナーレ曲「ゲストとの共演」合同曲

## 会員紹介

### ○謡曲部門

#### ◇喜多流喜陽会(きたりゅうきようかい)

代表: 吉田文明(喜多流教授) 師範代 中野広二  
事務局 萩野拓郎

流派: 喜多流喜陽会は、阿波藩の式楽喜多流の流れを汲み、現在は喜多流職分栗谷能夫師の指導を受け毎年稽古会を行っている。鳴物は小鼓が幸流、大鼓が葛野流、太鼓が金春流、笛が森田流。

会員: 20名、準会員(子供)6名

活動: お稽古は、素謡、素謡と仕舞、素謡と仕舞と鳴物のグループで、それぞれ曜日を分けて毎週一回行っている。演奏会は5月(春季会)、11月(秋季会)に謡曲・仕舞・舞囃子会を実施し、邦楽大会、徳島市芸能祭に参加している。

#### ◇嘉風会(かふうかい)

代表: 橋本ハル子(観世流能楽師師範)

流派: 観世流能楽、謡、仕舞の指導と普及活動

会員: 25名

活動: 自宅で個人指導。中央公民館の成人大学講座「謡・仕舞をたのしもう」で指導。八万コミセン「八万能楽子ども教室」で指導。  
平成19年から毎年、井上同門定期能楽の会、「松交会」(京都)、大阪井上同門能楽の会などに出演。嘉風会主催の発表会のほか他流との合同発表会、県民文化祭、徳島市コミセン祭、中央公民館祭、こども邦楽演奏会ほかに出演。  
平成21年3月文化の森県立近代美術館主催、同8月二十一世紀館主催の「能へのおさそい」で分かり易い能を企画演出。平成21年10月から八万南、鳴教大附属、北島北、津田の各小学校、鳴教大附属特別支援学校など県下で毎年数校ずつ、また県事業で平成23年7月から半田小学校、八万南幼稚園、みのり保育園ほかで、京都より吉浪壽晃師、浦部幸裕師、寺澤幸祐師ほかを招き、能楽の体験学習を行っている。  
能は、難しく堅苦しいと誤解され敬遠されがちだが、日本の芸能の原点であり、能を楽しむDNAが日本人にはあるので、多くの方々に能に感動して楽しんで頂けるよう、謡、仕舞の指導だけでなく、一流の能楽師と共に能の伝承と発展を願い、地域社会に貢献できるよう努力している。

### ○長唄部門

#### ◇徳島佐苗会(とくしまさなえかい)

代表: 会長 杵屋佐彰

流派: 長唄 佐門会所属

会員: 社中35名

杵屋佐田篠(篠懸会)、杵屋佐伴苗(玄の会)

杵屋佐栄篠(旦会)、杵屋佐世篠(郁の会)

日本橋よし栄(東会/俗曲・端唄)

活動: 県内で長唄、三味線、端唄の指導を行い、四国大学、徳島市中央公民館、阿波おどり会館、徳島新聞カルチャーセンター、徳島シビックセンター、NHK文化センター、カルチャーセンター徳島など、多数の教室で講師を務め、学校での三味線体験事業や自主事業である「こども邦楽(三味線)」、「こども三味線教室」を実施し、次世代を担う子供達への伝承に努めている。また郷土芸能など地域

文化遺産活性化のため、「邦楽のタベ〜屋形船演奏」や「三味線流し」などを実施し、風情ある三味線の音色を届けている。年2回のお祝い会では、日頃のお稽古の成果を発表し、毎年開催する企画演奏会「青の会」では、身近で親しみのある「テーマ」で選曲、構成に趣向を凝らし、楽しく分かりやすい内容の演奏会に努めている。

#### ◇長唄稀綾會(ながうたきりょうかい)

代表: 会長 稀音家治乃

流派: 稀音家流、11世杵屋六左衛門が稀音家照海と名乗ったのに始まる。大正15年(1926年) 3世杵屋六四郎が稀音家と改姓、以後一門の名となる。

活動: 稀綾會(徳島)春幸会(高知)を主宰。鳴門教育大学非常勤講師。学校などにて演奏及び指導を行う。県邦楽協会演奏会をはじめ各種演奏会に出演している。

#### ◇長唄佳趣会(ながうたかしゅうかい)

代表: 東音三木千佳子

活動: 県邦楽協会演奏会を始め、学校、祝賀会、催し物などへ出演しています。また平成24年秋には東京で行われる親師匠の演奏会に社中で出演しました。

#### ◇稀聲会(きせいかい)

代表: 稀音家四郎五郎

流派: 稀音家

会員: 35名

活動: 週二回個人指導。唄・三味線両方指導。週1回カルチャー教室指導。新年会、浴衣会、カルチャー発表会等、全員参加で演奏会をしています。また名取り同門会等に参加しています。

#### ◇杵家会徳島支部(きねいえかいとくしまぶ)

代表: 支部長 杵家弥智代

流派: 四世杵家弥七により、大正11年に「文化譜」が完成されました。この譜は、わかりやすく、便利なので、最も広く普及しています。

会員: 現在65名で第一、第二、第三支所があります。

活動: 稽古は各支部所属の師範が指導をしています。年に数回、家元による講習会と教室を開き、支部毎にお弾き初め、浴衣会を行っています。また定期的に支部演奏会を開催、県邦楽協会演奏会をはじめ流派演奏会、その他催し物などに出演しています。

#### ◇長唄古都和会(ながうたことわかい)

代表: 松永和幸節

流派: 日本長唄協会 松永流

会員: 約35名

活動: 稽古は毎週1回(合同練習は別)。

県邦楽協会主催の邦楽大会出演。古都和会初弾き会、ゆかた会開催。長唄同門会、関西大会に出演。三曲協会主催の三曲演奏会、ゆかた会に出演。都山流、琴古流、竹保流尺八演奏会に賛助出演。体験学習、幼稚園・小学校・中学校・高等学校(現在までに約50校)、慰問、保健老健養護施設訪(現在までに約30施設)、会員相互の親睦と邦楽を学び上達を喜びながら継承にも努めています。

#### ◇春松会(しゅんしょうかい)

代表: 松永和三舞郎

会員: 40人

活動: 徳島・鴨島教室を中心に活動。新年会、ゆかた会を開催し、邦楽大会に出演。

◇ 恵会(めぐみかい)

代表: 松永和幸恵

流派: 日本長唄協会 松永流

活動: 邦楽協会を中心に活動し、邦楽大会などに出演。

○ 三曲部門

◇ 琴古流尺八美風会徳島支部(きんこりゅうしゃくはちびふう  
かいとくしましづ)

代表: 支部長 大西晴一二

副支部長 宮竹晴園、竹内倫風、櫻井晴眉(師範の  
会)、近藤晴芳(古典に親しむ会)

流派: 琴古流

会員: 約50名

活動: 吹き初め会、三曲定期演奏会、野外活動、支部研究  
会、三曲ゆかた会、本曲講習会、四国ブロック夏季  
錬成会、邦楽大会、徳島市芸能祭、本部演奏会、  
支部演奏会、絃方演奏会賛助、支部師範の会演奏  
会、支部古典に親しむ会演奏会、施設、各種行事、  
学校(体験学習)等ボランティア活動、定例研究会  
(毎月第一、第三金曜日八万コミセン)

◇ 正絃社(せいげんしゃ)

代表: 室 志津代

流派: 生田流箏曲正絃社は、初代家元野村正峰、二代家  
元野村祐子の作品を中心に指導、演奏活動を行って  
いる。

会員: 約20名

活動: 邦楽大会、三曲演奏会、尺八演奏会等に出演。  
毎年1月お弾き初め会(初春のしらべ)開催。正絃社  
春の公演(名古屋)、関西作曲家協会演奏会(大阪)、  
正絃社幹部会夏季合宿、講習会等に参加。  
会等に参加。

◇ 箏曲あきら会(そうきょくあきらかい)

代表: 林 晶子(雅楽晶)

流派: 生田流正派音楽会、大師範藤本雅登伎先生に師事。  
平成4年から箏曲あきら会を創設

会員: 1名

活動: 古典曲、現代曲、ポピュラーソングなどに取り組んで  
います。演奏技術向上のほか、邦楽の歴史等も学ぶ  
よう努めています。

◇ 沢井箏曲院(さわいそうきょくいん)

代表: 遠藤綾子

会員: 20名

活動: 様々なジャンルとコラボレートし、箏の可能性を発信、  
作曲、編曲活動に取り組み、「邦楽を愛好する子ども  
育成会」で後継者育成にも努めています。

◇ 竹保流尺八徳島県支部(ちくほりゅうしゃくはちとくしまけんしづ)

代表: 支部長 浜井弘保

副支部長 西野笙保 板谷崇保 畑 笙保

幹事長 清水 露保

事務局長 兼松 劉保

流派: 竹保流尺八徳島県支部は、老若男女を問わず楽し  
める尺八を目指すとともに、県内邦楽の普及発展と  
地域文化の向上を目差し、昭和49年12月に発足し  
ました。

活動: 主な活動は、年1回の定期演奏会、徳島県邦楽協会、  
徳島県尺八協会、徳島県三曲協会演奏会、京都  
明暗寺尺八本曲全国献奏大会へ積極極的に参加し、  
研鑽を積んでおります。  
国民文化祭には、三重県、岐阜県、群馬県、鳥取県、

山口県、徳島県の各大会に出演し全国の邦楽愛好  
家との交流も深めています。また、徳島新聞カルチャ  
ースクール、徳島市中央公民館尺八講座に講師を  
派遣し、邦楽の発展に寄与しております。

◇ 当道音楽会徳島中支部 木内社中

(とうどうおんがくかいとくしまなかしづ きのうちしゃちゅう)

代表: 菊村弘子 (代行 島本菊保)

流派: 公益社団法人 当道音楽会

会員: 菊華茂美 菊弘敏子ほか6名

活動: 本部演奏会、邦楽大会、三曲協会演奏会、ゆかた会  
等に出演し、尺八の演奏会に賛助出演しています。  
また小学校で箏の生の音を聞いてもらおうと演奏活動  
を行っています。毎週、日曜日に渭北福祉館で尺八  
も合せ十数名で練習し、年に数回は、本部より先生  
をお招きして講習会も行っています。

◇ 当道音楽会徳島中支部 菊美会(とうどうおんがくかい  
とくしまなかしづ きくみかい)

代表: 菊村美枝子

流派: 公益社団法人 当道音楽会

会員: 1名

活動: 徳島県邦楽大会・三曲協会演奏会・ゆかた会等に  
出演したり、尺八の演奏会に賛助出演したりしていま  
す。古典を中心に演奏活動を行っています。

◇ 箏曲朱音会(そうきょく あかねかい)

代表: 猪井恵朱

流派: (財)日本当道音楽会所属(本部 大阪)

会員: 20名

活動: 2008年から「あせび子ども邦楽教室」講師で、会員  
50名。2010年から「邦楽を愛好する子ども育成会」  
を発足し代表。2011年から阿波の秘曲「紅葉合」の  
十六人目伝承者。

◇ 美乃里会(みのりかい)

代表: 井内久美子

流派: 生田流箏・三絃

会員: 約40名

活動: 主に古典を学ぶ会で、徳島県三曲協会、徳島県邦楽  
協会に所属し、その演奏会や尺八の演奏会、自会の  
演奏会等で古典曲を演奏し、勉強しています。

◇ 都山流徳島県支部(とざんりゅうとくしまけんしづ)

代表: 支部長 山上明山 南の会 村上聖山

西の会 地紙湫山 北の会 松田太山

流派: 都山流尺八楽会(公益財団法人)徳島県支部

会員: 75名(中学生から高齢者まで、女性も数名)

活動: 毎年の定期演奏会は、今年で68回を数えます。  
徳島県邦楽協会、徳島県三曲協会演奏会などへの  
出演のほか、講習会、コンクール、学校訪問等幅広く  
活動しています。

◇ 箏曲古都和会(そうきょくことわかい)

代表: 吉崎夕華

流派: 財団法人 日本当道音楽会所属

会員: 26名

活動: 那賀川中学校講師、富岡東高等学校羽ノ浦校講師、  
邦楽協会主催の邦楽大会、三曲協会主催の三曲演  
奏会、ゆかた会に出演。都山流、琴古流、竹保流の  
尺八演奏会に賛助出演。体験学習で、幼稚園、小学  
校、中学校、高校約50校で演奏。保健老健養護施  
設、約30施設の慰問演奏。会員と邦楽を学びつつ、  
継承者の育成に努めています。

◇ 宮城会四国支部内田社中(みやぎかいしこくしゅ

うちだしやちゅう)

代表: 内田道子

流派: 宮城会

会員: 30名

活動: 先人達が作曲した、特に宮城道雄が思いを込めた数多くの作品を、自分達なりに感じ、楽しみながら練習に励み、その頑張りの結果を舞台で発表しています。日本人として生まれたことを誇りにし、伝統音楽の中で心身共に成長し続ける。それを社中の目標として精進しています。全国各地で行われる宮城会の演奏に参加しています。

○ 琵琶部門

◇ 筑前琵琶旭城会(ちくぜんびわきよくじょうかい)

代表: 工藤旭城

流派: 筑前琵琶

会員: 5名

活動: 邦楽大会、徳島市芸能祭その他に出演しています。

◇ 薩摩琵琶錦心流旭水会

(さつまびわきんしんりゅうきよくすいかい)

代表: 浜 旭水

流派: 錦心流琵琶一水会

会員: 12人

活動: お稽古は週1回

邦楽を楽しむつどい、ケアハウスいちご苑、祖谷源内の里ふるさとまつりなどに出演しています。

◇ 錦心流琵琶全国一水会徳島支部

(きんしんりゅうびわぜんこくいつすいかいとくしましゅ)

代表: 芝原正水

流派: 錦心流琵琶全国一水会所属

初代徳島支部長の故内田欽水師の教えをもとに、お稽古を続けています。

会員: 若干名

活動: 薩摩琵琶の弾き語りをし、幽玄にして勇壮な音色と余韻を楽しみ、琵琶の魅力を伝えていきたいと活動しています。徳島県邦楽協会演奏会のほか、大阪支部演奏会、錦心祭全国大会などに出演しています。

○ 民謡部門

◇ 阿波ぞめき 渦の会(あわぞめき うずのかい)

代表: 福島俊治

流派: 福島流

会員: 160名

活動: 公演、おさらい会を隔年実施。邦楽大会、徳島市芸能祭ほか多数出演しています。

春、夏、秋には富田町富街通りで三味線流しを実施。東日本大震災チャリティーコンサートを県下で行い、義援金を日本赤十字社徳島県支部に寄付しました。はなはるフェスタに参加し、阿波おどりは4日間参加し、路上ライブも行っています。月2〜3回介護施設などへボランティアで出演しています。

○ 吟詠部門

「徳島県吟詠連盟」及び「徳島県詩吟剣詩舞道連盟」の加入者で、以下の流会派が邦楽協会に加入しています。

◇ 青雲流日本吟詠会(せいいうんりゅうにほんぎんえいかい)

代表: 荒瀬龍鳳

会派: 徳島県吟詠連盟 理事長

会員: 100名

◇ 揚心流日本朗詠会(ようしんりゅうにほんろうえいかい)

代表: 八木瑞堂 副会長・事務局長 三原瑞顕

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 会長、運営委員

会員: 700名

◇ (公社)関西吟詩文化協会明穂会(かんさいぎんしぶんかきょうかいめいすいかい)

代表: 山下明穂

会派: 徳島県吟詠連盟 副理事長

会員: 100名

◇ 乃木流吟剣詩舞道徳島県本部(のぎりゅうぎんけんしぶどうとくしまけんほんぶ)

代表: 西條典綜

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 理事長

会員: 100名

◇ 岳芯流吟詠会(がくしんりゅうぎんえいかい)

代表: 長田岳心

会派: 徳島県吟詠連盟 副理事長

会員: 125名

◇ 浄心流龍峰会(じょうしんりゅうりゅうほうかい)

代表: 亀谷龍藍

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 副理事長

会員: 100名

◇ 和光流東山吟詠会(わこうりゅうとうざんぎんえいかい)

代表: 泉 耕光

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 100名

◇ 貫心流吟道吉野川愛好会(かんしんりゅうぎんどうよしのがわあいこうかい)

代表: 桃井鴻春

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 常任理事

会員: 150名

◇ (公社)関西吟詩文化協会景昶会(かんさいぎんしぶんかきょうかいけいしょうかい)

代表: 藤本景孟

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 200名

◇ 吟道瑞祥流(ぎんどうずいしょうりゅう)

代表: 二代原田瑞祥

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 運営委員

会員: 100名

◇ 欽水流吟詠会(きんすいりゅうぎんえいかい)

代表: 安田水鈴

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 125名

◇ 瑞鳳流日本吟詠会(ずいほうりゅうにほんぎんえいかい)

代表: 野崎瑞鳳

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 運営委員

会員: 50名

◇ 吟詠鶯風流(ぎんえいおうふうりゅう)

代表: 中野吟鶯

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 100名

◇ 渭山流吟剣詩舞道至道会(いざんりゅうぎんけんしぶどうしどうかい)

代表: 吉田稲山

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 常任理事

会員: 200名

## 平成25年度 活動記録

### ○文化庁委託伝統音楽普及促進支援事業

本事業は、実演家・教員・調整者が協働して、伝統音楽を学校で教えるための仕組みづくりを目指し、平成23年に文化庁がスタートさせた事業である。事業は3つの柱からなり、①合同研究事業(実技講習会)、②教材作成事業(学校で扱う教材の作成・提案)、③コーディネーター支援事業(実演家と教員をつなぐ調整者の育成)を通して、伝統の音色を次世代へつなぎ、伝統音楽の普及促進を支援するものである。係る実施団体として徳島県邦楽協会の三曲部門(尺八・箏)、長唄部門(長唄三味線)が採択され、3年の継続事業がスタートした。

### ◇平成23年度事業実施状況

県内の音楽教員に呼びかけ、事業を開始した。三曲部門は、尺八、箏の実技講習会、教材作成会議を各5回実施、延べ教員88名、協会員53名が参加し、長唄部門は長唄三味線の指導講習会を3回、実技・教材作成会を2回実施し、延べ84名、協会員26名が参加して、アンケート調査等も合わせ、次年度以降の事業の基礎資料を作成した。

### ◇平成24年度事業実施状況

引き続き、三曲部門は尺八、箏の教材作成研究委員会を4回、実技講習会を1回実施、延べ教員58名、協会員38名が参加し、長唄部門は長唄三味線の教材作成会を4回、実技講習会を2回実施、延べ教員14名、協会員9名が参加してそれぞれ、学校教育向け教材を研究し作成した。

### ◇平成25年度事業実施状況

3年間の事業を経て、「教員と実演家の協働による日本伝統音楽の教材開発」が完成した。

三曲部門は、小・中学校向け教材案(20案)の提案と、授業実践(9校)の結果を報告した。

長唄部門は、郷土の歌などを取り入れた子どものための教本と、その解説書を作成した。

### ○徳島県芸術教育実技講座派遣事業

徳島県総合教育センターの要請により、音楽教員の実技講座に会員を派遣。

平成25年8月1日 三曲部門 沢井箏曲院(箏)

平成25年8月2日 三曲部門 竹保流尺八響の会(尺八)

平成25年8月6日 長唄部門 佳趣会(三味線)

### ○第45回記念徳島邦楽大会

[第15回県民文化祭 分野別フェスティバル]

平成25年10月13日(日) あわぎんホール

◇主催 徳島県邦楽協会、徳島県民文化祭開催委員会  
助成 日本芸術文化振興基金

◇出演団体

オープニング曲(全部門出演)

子供1 謡曲(喜多流喜陽会)

子供2 吟詠(欽水流吟詠会、渭山流吟剣詩舞道至道会)

子供3 吟詠(揚心流日本朗詠会)

子供4 吟詠(揚心流日本朗詠会)

子供5 吟詠(欽水流吟詠会、渭山流吟剣詩舞道至道会)

子供6 三曲(邦楽を愛する子ども育成会)

子供7 三曲(八万中学校 箏曲部)

子供8 三曲(富岡西高校 箏曲部)

オープニング曲(全部門出演)

1 長唄(杵家会徳島支部)

2 謡曲(喜多流喜陽会)

3 謡曲(観世流嘉風会)

4 琵琶(欽心流琵琶欽水会)

5 吟詠(貫心流吟道吉野川愛好会)

6 吟詠(浄心流龍峰会)

7 三曲(竹保流尺八徳島支部・  
日本当道音楽会所属朱音会)

8 三曲(都山流徳島県支部萌の会)

9 三曲(徳島箏曲スタジオ・都山流徳島県支部)

10 吟詠(公益社団法人関西吟詩文化協会明徳会)

11 吟詠(公益社団法人関西吟詩文化協会明徳会)

12 三曲(美乃里会・琴古流尺八美風会徳島支部)

13 三曲(当道音楽会徳島支部・  
都山流徳島県支部)

14 端唄(東会)

15 三曲(当道音楽会所属箏曲古都和会・  
琴古流尺八美風会徳島支部)

16 民謡(阿波ぞめき渦の会)

17 長唄(徳島佐苗会)

フィナーレ曲(全部門出演 指揮増田篤志)

◇入場者数 401名

### ○第42回徳島市芸能祭

平成26年3月2日(日) 徳島市立文化センター

◇主催 徳島市文化協会

◇出演団体 (プログラム第二部)

1 日舞

2 長唄(稀綾会)

3 謡曲(喜多流喜陽会)

4 謡曲(観世流嘉風会)

5 吟詠(青雲流日本吟詠会)

6 吟詠(揚心流日本朗詠会)

7 吟詠(乃木流吟剣詩舞道徳島県本部)

8 三曲(美乃里会・琴古流尺八美風会徳島支部)

9 三曲(竹保流尺八徳島風の会)

10 民謡(阿波ぞめき渦の会)

### ○後援事業

◇第96回徳島県吟詠コンクール

平成25年4月14日(日) 石井町中央公民館

◇第9回徳島県尺八協会演奏会

平成25年4月29日(祝) ふれあい健康館ホール

◇「邦楽さんまいコンサート」

平成25年5月26日(日) 北島町創世ホール

◇第82回喜多流春季謡曲・仕舞・舞囃子会

平成25年6月2日(日) ヨンデンプラザ徳島3階ホール

◇第23回子ども邦楽演奏会

平成25年6月22日(土) あわぎんホール

◇三曲 箏・三絃・尺八の調べ ゆかた会

平成25年7月28日(日) ヨンデンプラザ徳島ホール

◇第97回徳島県詩吟剣詩舞道大会

平成25年10月6日(日) 石井町中央公民館

◇第12回四国漢詩連盟徳島大会

平成25年10月14日(祝) ハートプラザ住友

◇第30回記念 竹保流尺八徳島県支部演奏会

平成25年10月27日(日) シビックセンターホール

◇第67回都山流徳島県支部定期演奏会

平成25年11月10日(日) 石井町中央公民館

◇第83回喜多流秋季謡曲・仕舞・舞囃子会

平成25年11月17日(日) ヨンデンプラザ徳島3階ホール

◇稀聲会 稀音家四郎五郎師籍三十周年記念

平成25年11月24日(日) 大塚ヴェガホール

◇内田道子開軒35周年記念箏曲演奏会

平成25年12月8日(日) 石井町中央公民館 藤ホール

◇第40回記念演奏会 箏・三絃・尺八の調べ

平成26年1月13日(月) あわぎんホール

◇琴古流尺八美風会徳島支部演奏会

平成26年1月19日(日) 阿南市情報センターコスモホール



| 年月日       | 部門 | 主催団体名         | 催しの名称                | 会場             |
|-----------|----|---------------|----------------------|----------------|
| 4月6日(日)   | 吟詠 | 徳島県吟詠剣詩舞道連盟   | 平成26年度徳島県吟詠コンクール大会   | 石井町公民館         |
| 4月6日(日)   | 吟詠 | 徳島県吟詠連盟       | 第45回徳島県吟士権者決定大会      | あわぎんホール4階大会議室  |
| 4月26日(日)  | 三曲 | 琴古流尺八美風会徳島支部  | 野外音楽会                | 新町橋東公園         |
| 4月29日(祝)  | 三曲 | 竹保流徳島県支部      | 第10回徳島県尺八協会本曲大会      | 徳島市ふれあい健康館ホール  |
| 5月3日(日)   | 民謡 | 阿波ぞめき渦の会      | 台14回渦の会公演            | あわぎんホール        |
| 5月11日(日)  | 吟詠 | (公財)日本吟剣詩舞振興会 | 平成26年度全国吟詠コンクール徳島大会  | あわぎんホール4階大会議室  |
| 5月18日(日)  | 吟詠 | 徳島県吟詠連盟       | 第29回高年吟士権大会          | あわぎんホール4階大会議室  |
| 5月18日(日)  | 謡曲 | 喜多流喜陽会        | 第84回春季謡曲・仕舞・舞囃子会     | ユンデンプラザ3階ホール   |
| 5月25日(日)  | 吟詠 | (公財)日本吟剣詩舞振興会 | 平成26年度全国剣詩舞コンクール徳島大会 | 石井町公民館         |
| 6月1日(日)   | 三曲 | 美乃里会          | 美乃里会演奏会              | アスティ ときわホール    |
| 6月16日(日)  | 長唄 | 杵家会徳島支部       | 第4回長唄演奏会             | あわぎんホール        |
| 6月22日(日)  | 吟詠 | 日本吟詠総連盟       | 平成26年度全国吟詠コンクール四国大会  | 石井町公民館         |
| 6月22日(日)  | 民謡 | 阿波ぞめき渦の会      | 和と洋の絃で綾なす巡礼歌         | 大塚ヴェガホール       |
| 6月29日(日)  | 吟詠 | 徳島県吟詠連盟       | 平成26年度四国・愛連出場者決定大会   | あわぎんホール4階大会議室  |
| 7月6日(日)   | 三曲 | 琴古流尺八美風会徳島支部  | 支部研究会                | 昭和町あたけ         |
| 7月27日(日)  | 三曲 | 三曲協会          | 三曲ゆかた会               | ユンデンプラザ3階ホール   |
| 7月27日(日)  | 長唄 | 徳島佐苗会         | 長唄浴衣会                | あわぎんホール5階小ホール  |
| 7月～8月     | 長唄 | 徳島佐苗会         | 邦楽の夕べ(屋形船演奏)         | 新町川            |
| 8月12日(火)  | 長唄 | 徳島佐苗会         | 三味線流し                | 阿波踊り開幕式展(市役所前) |
| 8月        | 謡曲 | 観世流嘉風会        | ゆかた会                 | 八万コミセン         |
| 8月24日(日)  | 三曲 | 琴古流尺八美風会徳島支部  | 支部本曲講習会              | 八万コミセン         |
| 8月31日(日)  | 三曲 | 琴古流尺八美風会徳島支部  | 四国ブロック夏季錬成会          | 第6番札所安楽寺       |
| 9月        | 謡曲 | 観世流嘉風会        | 敬老会                  | 八万コミセン         |
| 10月5日(日)  | 吟詠 | 徳島県吟詠剣詩舞道連盟   | 平成26年度秋季大会           | 石井町公民館         |
| 10月12日(日) | 謡曲 | 観世流嘉風会        | 八万敬老会                | 八万コミセン         |
| 10月12日(日) | 全  | 徳島県邦楽協会       | 第46回邦楽大会             | あわぎんホール        |
| 10月26日(日) | 三曲 | 竹保流徳島県支部      | 第31回竹保流徳島県支部定期演奏会    | あわぎんホール4階大会議室  |
| 10月19日(日) | 長唄 | 国文祭あきた2014    | 邦楽の祭典                | 秋田市文化会館        |
| 11月2日(日)  | 吟詠 | 徳島県吟詠連盟       | 秋季吟剣詩舞大会             | あわぎんホール4階大会議室  |
| 11月3日(祝)  | 三曲 | 琴古流尺八美風会徳島支部  | 美風会徳島支部演奏会           | あわぎんホール        |
| 11月4日(日)  | 長唄 | 徳島佐苗会         | 第17回青の会 徳島佐苗会演奏会     | あわぎんホール        |
| 11月16日(日) | 謡曲 | 喜多流喜陽会        | 第85回秋季謡曲・仕舞・舞囃子会     | ユンデンプラザ3階ホール   |
| 12月       | 謡曲 | 観世流嘉風会        | 嘉風会発表会               | 八万コミセン         |
| 1月12日(祝)  | 長唄 | 徳島佐苗会         | 新春弾初会                | あわぎんホール4階大会議室  |
| 2月8日(日)   | 三曲 | 琴古流尺八美風会徳島支部  | 吹き初め会                | 昭和町あたけ         |
| 2月15日(日)  | 三曲 | 三曲協会          | 第41回三曲協会演奏会          | あわぎんホール        |
| 3月1日(日)   | 全  | 徳島市文化協会       | 第43回徳島市芸能祭           | 徳島市文化センター      |

役員改選 新役員紹

平成26年4月13日(日)総会にて新役員を選任しました。

|                |                                                                                                                  |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 顧問<br>参与       | 大櫛亜童、杵屋佐篠、浅香寿穂<br>杵屋佐吉、杵家弥七、稀音家六四郎、松永忠五郎<br>望月太明之、八木瑞堂、浜井弘保、松永和世幸、<br>荒瀬龍鳳                                       |
| 会長             | 大西晴一二                                                                                                            |
| 副会長            | 東音三木千佳子、西條典綜、井内久美子                                                                                               |
| 常任理事<br>(部門長兼) | 猪井恵朱(三曲)、工藤旭城(琵琶)、稀音家治乃<br>(長唄)、吉田文明(謡曲)、亀谷龍藍(吟詠)<br>長田岳心、内田道子、山下明山、山下明穂、<br>稀音家四郎五郎、遠藤綾子、清水露保、杵屋佐伴苗<br>泉耕光、室志津代 |
| 監事             |                                                                                                                  |
| 事務局            | 局長 遠藤綾子 次長 島本菊保<br>萩野拓郎、安田水鈴、松永和三舞郎                                                                              |

ロゴ(マーク)

平成21年、徳島県邦楽協会の団結のシンボルとして、  
特に県外での演奏活動(国文祭等)に際して、協会代表  
の認識と誇りを持ってもらうよう創られました。

題字

書家 後藤泰秀(鹿三)氏 (宝生流謡曲家)によるも  
ので、昭和49年創刊号から使用されています。

編集後

今号は、役員改選年にあたり4月総会後の発行になり  
ました。また、徳島県邦楽協会の活動をより広くご理解頂  
くため、ホームページを立ち上げました。合わせてご活用  
頂きますようご案内申し上げます。(事務局 萩野拓郎)  
(<http://hougaku-tokushima.net/>)